

4月5日(水)、豊中市立ローズ文化ホールで豊能地区公立学校初任者研修及び新規採用養護教諭・栄養教諭・学校事務職員研修の開講式が行われました。今年度は、小学校95名、中学校49名、新規採用者10名が受講します。まもなく迎える子どもたちとの“出会い”。その期待と一抹の不安が入り混じった中での開講式は、事務局長の挨拶、研修グループ長から研修受講についての説明にはじまり、続けて、お二人の先輩教員から温かいメッセージをいただきました。(以下は、振り返りシートの記述からの抜粋です。)



☆先輩からのメッセージを聴いて

- 子どもの成長した姿、どんな子どもになってほしいかをしっかりイメージすることが大事だと思いました。そのために、自分には何ができるのかを考え、周りの先生方と協力しながら、日々学んでいける教員になりたいと強く思いました。
- 「もっと周りの先生に頼っていいんだよ。」という言葉がとても響きました。素直に聞くこと、相談することを大切にしながら、働きたいと思いました。

☆安心して夢に向かってかかわりあう関係を☆

開講式の後半は、大阪多様性教育ネットワークの沖本和子先生による講義・演習でした。講義から1か月以上が経ち、実際に子どもたちと過ごす中で、改めて講義での沖本先生の言葉や、演習での自身の気づきは、どんなことが残っているのでしょうか？今、まさに実践していることや、これから取り組んでいきたいこともあると思います。本日返却された自身の振り返りシートの記述をもとに、今一度学びを振り返ってみてください。

- 沖本先生の話すスピードや選ぶ言葉の温かさを、講義を通して実感しました。私も参考にして、そのような話し方で子どもと関わり、授業をしていきたいと思いました。3つの安心の約束は、早速来週以降の学級経営に取り入れていきたいと思いました。
- 子どもたちも教職員も、誰もがありのまま、そのままでもいいんだと思いました。金子みずゝさんの「みんなちがってみんないい」という言葉が思い浮かびました。沖本先生の言葉や声かけに安心があり、とても心が温かくなりました。
- 安心ルール、傾聴・信頼・尊重というキーワードは、教員である私自身が意識していくことが大切であるように感じました。まずは私自身がクラスの中でしっかりと実践していくことで、子どもたちに伝えていきたいです。



初任者・新規採用者としての一年は本当に「学ぶこと」が多いです。気になること・考えること・感じることも多いとも言え換えられるのかもしれませんが。

校内で日々学んでいることと、校外研修で学ぶことを行き来しながら、同期と支えあい高めあえる研修の場を大切にしてください。また、楽しさや嬉しさはもちろん、時には苦しいことや悩みや不安も口にしながら、同じ初任者・新規採用者だからこそ共感できる関係も大切にしてください。研修での出会い・つながりを励みに、これから豊能地区でともに学び続けましょう！